



尼崎と作家たち 第50回

矢沢 あい (やざわ・あい)

漫画家

尼崎市出身。1985(昭和 60)年、市立尼崎東高校(現在の尼崎双星高校)在学中に「りぼんオリジナル早春の号」掲載の『あの夏』で漫画家デビュー。代表作には『マリブルーの風に抱かれて』『バラードまでそばにいて』『天使なんかじゃない』『ご近所物語』『下弦の月』『NANA』などがある。『NANA』は映画、アニメ、主題歌が大ヒットした。2009年に『NANA』の休載を発表。近年は、イラストの仕事を中心に活動している。



作品介绍

「下弦の月 ラスト・クォーター」

矢沢 あい/原作 二階 健/脚色 下川 香苗/著 集英社 2004年発刊

19歳の誕生日に恋人の安西知己に裏切られた女子大生・望月美月。呆然と町をさまよう彼女は聴き覚えのあるギターの旋律に誘われ、古い洋館へ。そこでアダムと名乗る美しい青年と運命的な出会いをする。矢沢あい原作の映画「下弦の月」のノベライズ。ミステリアスで切ないラブストーリー。



絵本・手あそび DE コミュニケーション！

絵本の選び方や楽しみ方、絵本を通したコミュニケーションについて
手遊びをまじえながら、楽しくお伝えする講座です。
どうぞお気軽にご参加ください♪



【日 時】4月19日(金) 11:00~11:45

【場 所】中央図書館

【対 象】2歳までのお子さんとその保護者、妊婦(パートナーの参加も可)(先着10組)

【申 込】専用の申し込みフォーム

または中央図書館カウンターへ直接お申し込みください。

受付：4月5日(金)午前9時~4月18日(木)

(定員に達した場合は受付を終了します)

お申し込みは
こちらから！



武井武雄 生誕 130 年記念



『こけし図譜』と郷土玩具の世界

武井武雄は大正時代に児童雑誌「コドモノクニ」創刊に携わり、昭和時代にかけて多くの児童書の挿絵・装丁・物語を産みだし、日本の児童文学に偉大な足跡を残した童画家です。各地の伝統こけしや郷土玩具に魅了され、それらをモチーフとした、たくさんの愛らしい作品を作りだしました。今年生誕130年を迎える武井武雄の作品世界とともに、尼崎・兵庫県の郷土玩具についても紹介します。こけしや郷土玩具についてのガイドブックやエッセイ・物語・武井武雄の絵本・関連書など、貸出できる本も集めました。

場所：2階 エントランス 期間：4月24日(水)まで

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本 教 珠 つ な ぎ

第42回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。室崎 益輝さん(神戸大学名誉教授)から推薦された次の方は…



すが ましほ
菅 磨志保さん

(関西大学社会安全学部准教授)

『ポスト・ボランティア論
日常のはざまの人間関係』

原田 隆司 / 著 (ミネルヴァ書房 2010年刊)



29年前、神戸で「ボランティアさん」と呼ばれた時の違和感を解消してくれた本。著者は、「ボランティア」という言葉を使うと、「する側」の姿勢や意志が強調されてしまい、活動の発端となる「受け手側」の切実な「望み」や、その望みに対応しなければならない理由を曖昧にしてしまう、という。「ボランティア元年」から30年。被災地や地域福祉の現場で「ボランティア」の実践が重ねられてきたが、活動が向かう先、活動が求められる社会状況を見ていかなければいけないと思う。

次回は、まちづくりプランナーの野崎 隆一さんです。お楽しみに！

レファレンス室

から

～新刊紹介～

詳解『源氏物語』文物図典
有職故実で見る王朝の世界
(平凡社)2024年1月発刊



今年のNHK大河ドラマ「光る君」で描かれている『源氏物語』の世界。平安貴族の服飾、部屋の調度品、遊戯、娯楽や年中行事、儀礼、花鳥風月などを文脈に沿って、豊富な写真や絵巻の図版とともに解説しています。細部から全体を深く味わえる考証的大図典です。

この資料は、3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

時差について調べたい。
(小学生)



『総合百科事典 ポプラディア 5巻し』(ポプラ社)で「時差」を引くと「同じ瞬間の世界各地の標準時の時刻の差」とあります。さらに国立国会図書館レファレンス協同データベースで「時差」「児童」をキーワードに検索すると、類似の相談事例がヒット。紹介されている図書を所蔵検索し、『世界子ども図鑑:地図をつかう』(昭文社)、『地球儀で探検!』(PHP研究所)、『ふしぎ?ふしぎ!〈時間〉ものしり大百科』(ミネルヴァ書房)など、時差についての解説が収録されている本を提供しました。

こんな本 入りました

～ 一般室の本棚から ～

『東北モノローグ』

いとう せいこう/著 (河出書房新社)



東日本大震災から13年。震災の傷痕はまだ癒されない。この時間は人々に何を残してきたのか。福島、宮城、岩手、山形を訪ね歩き、東北の人々がいま語ることに耳を澄まし、記録したノンフィクション。『福島モノローグ』に続く集大成となっている。

『ハンバーガーとは何か? 歴史、調理技法、

ビジネスから読み解くハンバーガーの“本当の姿”』

白根 智彦/著 吉澤 清太/監修 (グラフィック社)



30年以上国内外のハンバーガーを研究し続け、歴史や調理技法だけではなく、ビジネスの視点からもハンバーガーという食べ物について語っている。アメリカだけでなく、日本のハンバーガー文化や、ブームが続いているグルメバーガーについても徹底解説。

『鳥人王』

額賀 滯/著 (光文社)



お笑いでは芽が出ず、身体能力ばかりが評価される、崖っぷちの芸人。彼は番組の企画で棒高跳びに挑戦することになった。共演するのはパリ五輪が目標のいけ好かない大学生アスリート。二人の跳躍の先に広がる景色はいったいどのようなものなのか。夢と現実のその先にある物語。

『塔のない街』

大野 露井/著 (河出書房新社)



窓越しの恋の不穏、時を超える名探偵、エリザベスの秘密の冒険…。ロンドンを舞台に気鋭の翻訳家が贈る、初めての小説。著者の訳書にはコルヴォー男爵『教皇ハドリアヌス七世』、チェンティグロリア公爵『僕は美しいひとを食べた』などがあ

4月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館時間 **9:00~20:00**

※ ■ 印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は **17:15** まで。

朗読の会 おはなし玉手箱

日時 4月9日(火) 午後2時~3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「弁当」(『小さな花が咲いた日』より)
石川 結貴/作

「よだかの星」宮沢 賢治/作 ほか1篇
※次回は5月14日(火)です。

◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

14:55~15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00~11:30 0~3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館だより
「本と友だち」をご覧ください

リーディングトラッカー(読書補助具)をご用意しています

リーディングトラッカーは読書をサポートするツールです。この道具を使えば、読みたい行だけに視線を集中して文章を読むことができます。

館内でご利用いただけます。その際は、カウンターにお声をかけてください。

中央の窓を覗くと
読みたい行だけに集中して
文章を読むことができます。

リーディングトラッカー



※リーディングトラッカーの窓の色は赤・青・無色の3つを用意しています。

担当者のつぶやき

新年度が始まりました。自分の子どもが地方に就職することになり、親子で分離不安になっていました。そんなとき、児童担当者が2冊の絵本を勧めてくれました。親子の自立と成長をそっと後押ししてくれるような、そんな優しい絵本に出会えました。(M.Y)



5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	